

2017年度 活動報告 No.3 (11月～2018年3月)

◆多文化交流会：11月26日（日）13：30～16：15 in ぴゅあ総合

「太神楽を観る/体験する！」



* 講師：国立劇場太神楽研修修了という経歴をお持ちの「かがみもち」こと「丸一仙三さん、
仙花さん」です。さすが、ご夫婦、息のあった見事な芸を披露していただきました。また、
英語を交えた話術が笑いをとっていました。
実はこの企画、黒瀬さんのご縁とご尽力で実現しました。

* 参加者：29名（ゲスト14名+会員15名）

ゲストの内訳：スリランカ2名、インド2名、USA2名、そしてイギリス、カナダ、
リトアニア、フランス、インドネシア、ペルー、日本の各1名
「多文化交流会」の名にふさわしい多彩な文化の華が咲きました。



*プログラム

・第1部：「太神楽を観る/体験する」

前半は「観る」。お二人の演技と話術に引き込まれ、笑いがあふれていました。後半は「体験する」として、紙とお手玉を使った技に挑戦しました。さらに人数限定で傘の上での球回しも。

講師の実演を見ているとさも簡単そうですが、いざ挑戦してみると思うようにいきません。ところが、悪戦苦闘している大勢をしり目に、「ひょっとして、ストリートパフォーマー？」と見まがう手さばきの方もいて注目の的でした。





・第2部：交流会です。5グループに分かれ、お茶会をしながら自己紹介。その後、グループ対抗で言葉ゲーム（いつ、どこで、だれと、だれが、何をした）をしました。

*ゲスト参加者のお二人が「感想文」を寄せてくださいました。

ルイーザ・バロンさん（イギリス）とバスコ・ジェニファー・石田さん（USA）です。

次ページからご紹介します。

（写真：黒瀬、報告：稲谷）

多文化交流会の感想

My name is Louisa Barron. I am from the UK and I came to Japan in August 2017. I am an English Teacher at Kofu Showa High School.

I was invited to the Multicultural Exchange Meeting by Natsuko-sensei who is my Japanese teacher. I am very happy that I went because I love learning about Japanese culture. I had lots of fun watching the performers and joining in. I also tried to speak Japanese which was difficult but everyone was very nice and helpful.

私はルイーザ、バロンです。イギリスから来ました。私は2017年8月に日本に来ました。甲府昭和高校の英語の教師です。

私は日本語の先生の奈津子先生から多文化交流会に招待されました。日本文化を学ぶのが大好きなので、参加してとてもうれしかったです。出演者の演技を見たり、私も参加したり、とても楽しみました。日本語で話そうとしましたが、難しかったです。でも、みんなとてもやさしく、いろいろ助けてくれました。

ルイーザ、バロン（イギリス）

多文化交流会に参加して

バスコ・ジェニファー・石田

平成30年 2月 1日

私はコロラド州から来た、日系四世のアメリカ人です。祖父の家族は広島から来ましたが、祖母は東京から来ました。日本に住むことは初めてですが、ずっと日本に来たいと思っていました。大学で日本語を勉強しましたが、まだたくさん習うことがあります。

平成29年11月に「山梨日本語ボランティア会」の一年に一度の^{たぶんかこうりゅうかい}多文化交流会
に出席して「かがみもち」という^{だいかぐらしゅつえんしゃ}太神楽出演者を見ました。実は、ジャグリングはつ
まらないと思っていましたが、彼らのパフォーマンスを見た後で^{おどろ}驚きました。素晴
らしいジャグリングとバランスを見ました。太神楽の文化について習うことができ
^{うれ}嬉しかったです。たぶん、かぶきやアニメを知っている外国人は多いですけど、こ
のパフォーマンスを見たので日本文化をもっとよく分かったように感じます。それに、
かがみもちの二人は英語と日本語を使ってくれたので皆もパフォーマンスをよく分
かったと思います。

それで、日本語ワークショップに^{さんか}参加して文を作るアクティビティは楽しかっ
たです。私は大学生の時に同じようなことを日本語を習いたい学生に教えたことがあ
ります。今回は私も一緒に、面白い文を作りました。笑うことと^{そうぞうせい}創造性は学習に一番
^{こうかてき}効果的な方法だと信じています。教科書で習うことは大切ですが、^{じっさい}実際に話すこと
も大切ですよ。年に一度の多文化交流会へ行ったので、私達の^{ちしき}知識が伸びました。

Participating in the Intercultural Exchange Workshop

Jennifer Basco Ishida

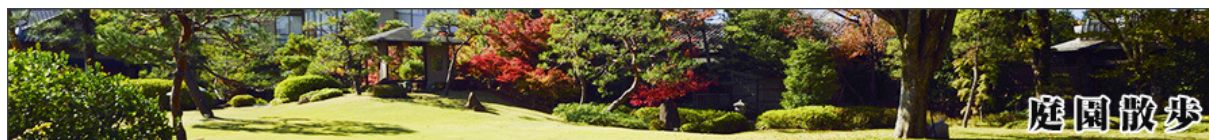
February 1st, 2018

I'm a fourth generation Japanese American from Colorado, USA. My grandfather's family came from Hiroshima, and my grandmother (1st generation), came from Tokyo. This is my first time living in Japan, and I have always wanted to come here. I studied Japanese in college, but still have so much to learn.

In November (2017), I attended the Yamanashi Japanese Volunteer association's yearly workshop, and saw the Kagami Mochi Daikagura performers. Actually, I have never found juggling to be interesting, but after seeing this performance, I was amazed. Their juggling and balance acts were so spectacular. I'm glad I was able to learn about Daikagura art form too. Perhaps there are many foreigners who know about things like Kabuki and Anime, but by learning about this, I feel that I gained a better understanding of Japanese culture. Furthermore, the duo used English with their Japanese, which helped everyone to better understand the performance.

After that, we did a Japanese sentence activity, which I thought was fun. I used to do something similar when I was in college with students who wanted to learn Japanese. This time, we all worked together to make interesting (and funny) sentences... I believe that laughter and creativity are the most effective ways to learn. Textbooks are important for learning, but practical use and conversation are so important as well. This once-a-year workshop certainly improved my knowledge, as well as the other students'.

◆**新年会**：2018年1月17日（水） 11：30～13：30 甲府常磐ホテル



昨年好評だった会場での開催です。 今年はいにくの雨で、庭園散策は遠慮しましたが、館内はしっとりとした雰囲気になっていました。 また、ロビーを歩きかう着物姿のグループもあり、さすがに新春の華やぎが感じられました。

参加は9名とこじんまりとしていましたが、全員の顔を見ながら落ち着いて話げできました。料理は各自選択（松花堂/海鮮丼：税込2,000円など）でした。



参加者の一言より

☆2年間通った養成講座も2回の実習を残すばかりとなった。実習を前に緊張している。

また、修了後の進路について模索中。

★受講者を連れて、YINの新春多文化交流会（1月14日）に参加した。 各国料理も並び、喜んでもらった。

☆韓国人受講者を担当している。

その方は週 4 回、プライベートの教室で日本語を学び、さらに週 1 回本会で学んでいる。12 月に N2 を受験した。



★担当していた方が帰国しても、口コミで依頼が続き受講者が途絶えない。

その一人で 5 年間担当した方がアメリカに帰国して結婚。結婚式に招待された。今回は都合がつかなかったが、いずれ訪ねたいと考えている。

☆フィリピン女性を担当している。ただし、昼間の仕事から夜のパブでの仕事に変わって以来、早起きができず、出かけて行っても待つことがある。現在は帰国中。

★腹話術の活動が山日新聞に取り上げられ、その後、公演依頼が多数舞い込んできている。

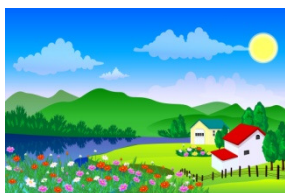
また、演劇の公演もこなしているので、多忙な日々を過ごしている。

最近、HP の記事を読み返した折、日本語に関することなど得ることが多かった。HP や FB などを活用して、本会の活動を広く知ってもらいたいと思った。

☆受講申し込み数が昨年度の実績を下回っている。ただし、会員数に比較して実際に活動できる人数も限られているので、現状でギリギリかもしれない。

★芥川賞を女性 2 名が受賞した。1 名の作品はインドで日本語教師をしているという設定だそう。日本語教師に対する関心が高まるかもしれない。もう 1 名は同世代であり、しかもデビュー作。老後をテーマにしているらしい。共に読んでみたい。

◆2018 年度・総会予告！



★4 月 21 日（土）13：30～16：30

びゅあ総合 落語もあります！

（写真：内田、報告：稲谷）